

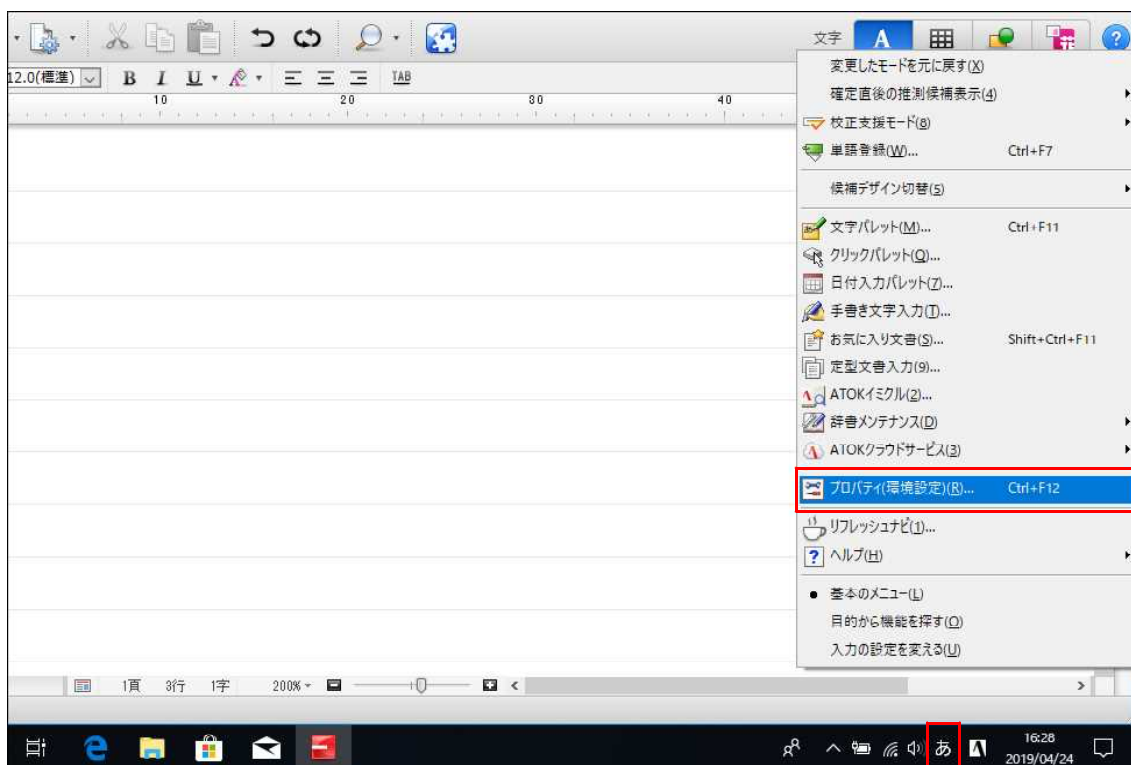
【ATOK 編】

元号と西暦を併記した日付変換ができるようにするマル秘テク

一太郎 2019 と ATOK は、2019 年 5 月から始まる新元号「令和」に対応しました。新元号対応モジュールを適用することで、各種機能をアップデートできます。

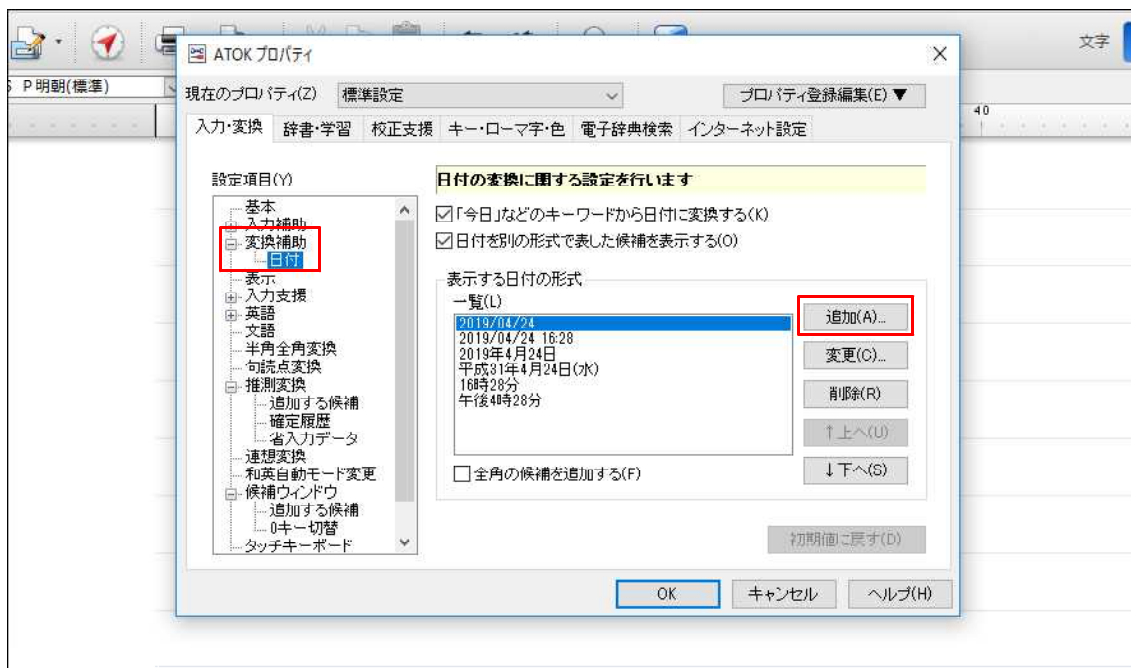
ATOK は、「きょう」「ことし」といった読みから、その日の日付や現在の年に変換することができますが、モジュール適用後は、「令和」を使った変換も可能となります。日付の形式は追加することができるので、よく使うものを登録しておきましょう。今回は、元号と西暦を併記した候補を追加してみます。

1. 通知領域の「あ」という部分を右クリックし、[ATOK メニュープロパティ（環境設定）] を選択します。

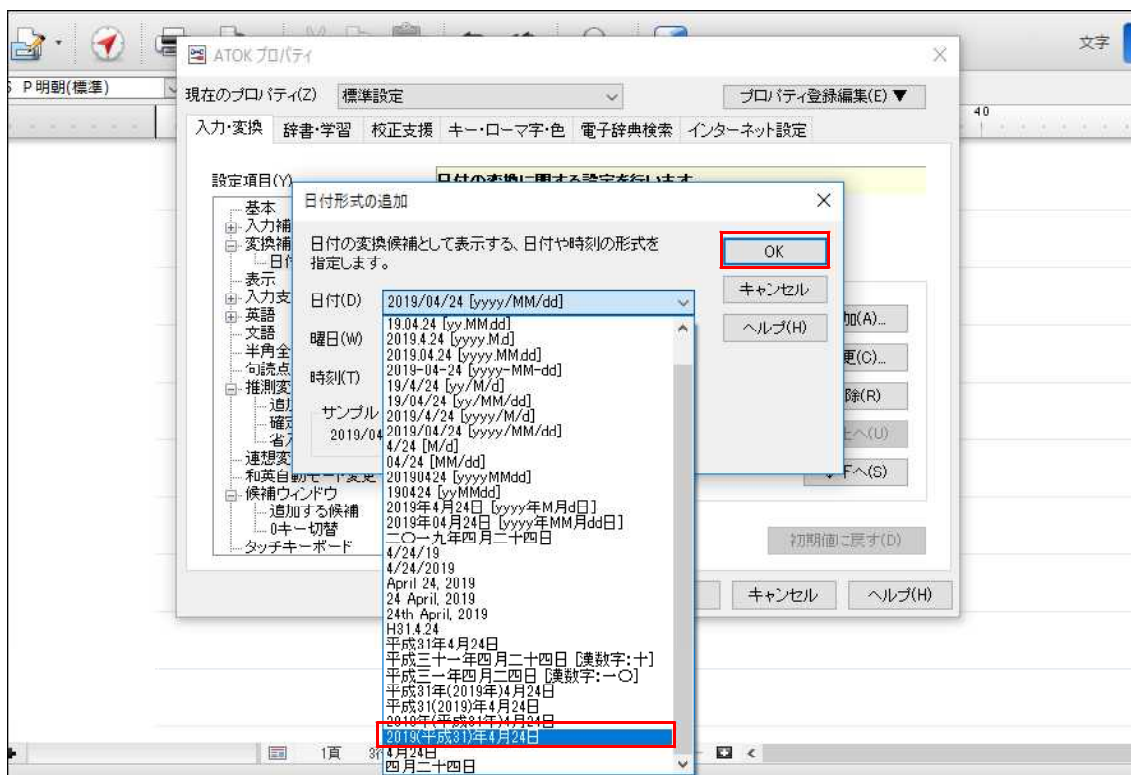


↓

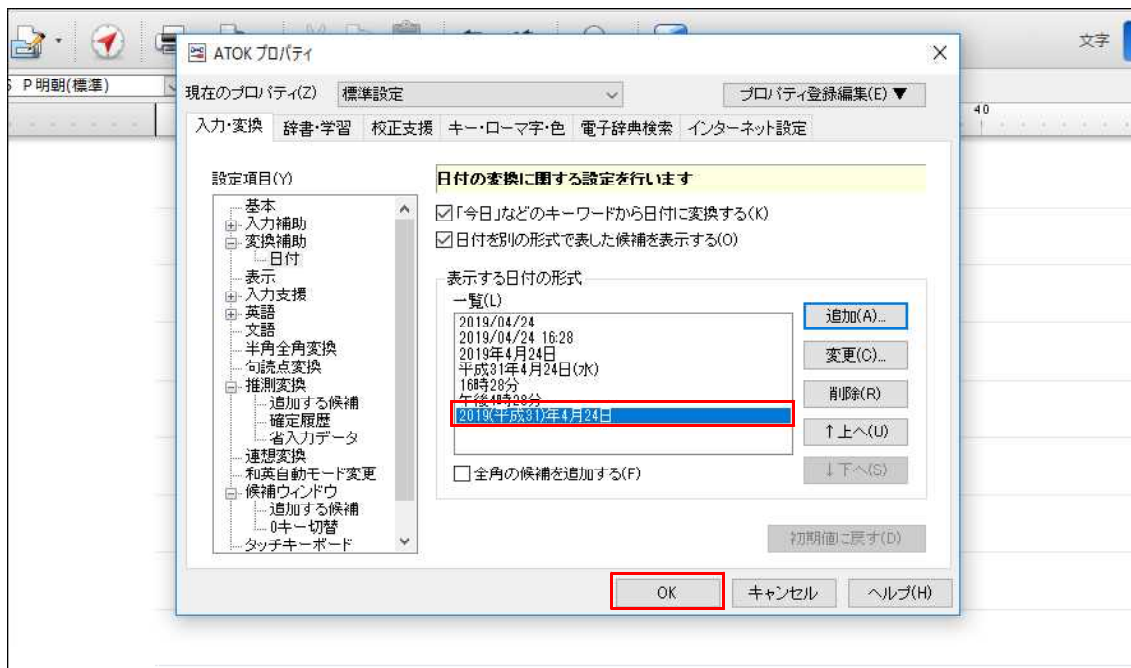
2. [設定項目] で [変換補助-日付] を選択し、[追加] をクリックします。



3. [日付] で好みの形式を選択できます。ここでは、「2019（平成 31）年 4 月 24 日」を選択し、[OK] をクリックします。



4. [一覧] に候補が追加されたことを確認し、[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。



5. 「きょう」を入力して変換すると「2019（平成 31）年 4 月 24 日」に、「らいねん」と入力すると「2020（令和 2）年」と、元号と西暦が併記された候補が表示されます。

